

特集

新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症対策の現状

自治医科大学附属病院 田 中 聰 子

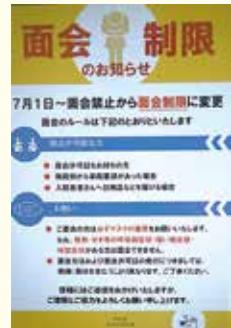
新型コロナウイルス感染症は、今般、世界的に大きな拡大が確認されています。当院では下記の感染対策を実施しております。

①外来患者および来院者への対応

- ・外来患者および来院者の方には、入り口での検温・症状の確認・感染疑い者等との接触有無の確認をしています。
- ・院内に入られる全ての方に原則マスクの着用・アルコール手指消毒をお願いしています。
- ・面会制限を行っています。（令和2年11現在）

②職員対応

- ・COVID-19対策本部会議を組織化して、最新の正しい情報の収集と職員への情報の提供を実施し職員全員の共通理解に努めています。
- ・全職員就業時のサージカルマスクの着用、手指衛生の徹底をしています。
- ・職員の不安やストレスを軽減するために、COVID-19こころのケアチームで対応しています。
- ・TRICKで定期的に合同カンファレンスを開くなど地域の医療機関と連携し地域全体の感染対策に取り組んでいます。



新型コロナウイルス感染症対策の現状

佐野厚生総合病院 感染対策室 感染管理認定看護師 深 田 理 佳

佐野厚生総合病院では、2020年2月にクルーズ船からのCOVID-19陽性患者の受け入れを始め、数十名の陽性患者を受け入れています。重症化した患者の診療・ケアも乗り切りました。手探りで開始した受け入れ病棟の対策も、現場力で標準化され、継続して受け入れることができます。病院長を中心に毎週COVID会議を開催し、院内対応の決定や対策の評価をタイムリーに検討することができます。当院への来訪者の検疫体制・予定検査・手術・入院患者のSARS-CoV2検査体制、外来における発熱患者診療体制など、様々な体制作りを全職員の協力で構築しました。感染対策に必要な防護服などの物品確保や使用削減も管財課管理の下、全職員に協力を得ています。ここまで院内から感染者を出さずに現在に至っていることは何よりのモチベーションです。脆弱な建物構造の問題に悩みながらも、職員のメンタル面にも寄り添い、この冬を安全に過ごすため職員一丸となって取り組んでいます。



新型コロナウイルス感染症対策の現状

老人保健施設かみつが 斎 藤 美 樹

新型コロナウイルス感染症の猛威は続き、県内の感染者数も11月には600人を超えるました。医療・介護の現場においては感染拡大防止に向けた数々の対策がとられています。

私が勤務する介護老人保健施設においても厚生労働省の通知等に基づき、職員及び施設利用者の健康管理の徹底、3密回避を含めた新しい施設生活様式の実践、施設等の消毒・清掃の実施などを継続実践しており、業務量は確実に増加しストレスフルな日々が続いている。また医療機関や介護施設では「面会禁止」対策が継続されていますが、入所者と家族は会えないこと